



# DX推進における職員の 主体性強化に向けた現状調査に基づく 人材育成の施策設計

Designing HR Development Strategies Based on a Current Survey  
to Enhance Staff Proactivity in Digital Transformation Promotion

学校法人日本女子大学  
管理部システム課  
松下有稀 / 北真一

【DX推進における職員の主体性強化に向けた現状調査に基づく人材育成の施策設計】

## 発表の流れ

### 1. 本学の現状およびIT意識調査実施の背景

### 2.IT意識調査の詳細

2-1. IT意識調査の概要および回答者の属性

2-2. 調査の全体集計結果

2-3. 主体性に影響を及ぼす背景要因

### 3. 調査結果の総括および今後の展望

## 学校法人 日本女子大学

**東京都文京区目白台にキャンパスを構える女子大学。**

文系学部から理系学部まで有する総合大学です。

大学教育以外にも付属機関として  
幼稚園、小学校、中学校、高等学校、  
通信教育課程、リカレント教育課程も有しています。

学園全体では約160名程度の専任職員が在籍。

→ **全部署の専任職員を対象にIT意識調査を実施。**



## ①日本女子大学の現状（中長期計画より）：

【STEAM教育の促進やIR強化など、デジタル技術を基盤とした教育・業務改革の促進】

組織から個人に求めるITスキル・リテラシーは拡大傾向。

→これまで**システム担当が担っていた判断が、現場の末端まで広がりつつある。**

- 個人：**主体性**が必要。個人の判断力・行動が、組織の柔軟性と安全性を左右。
- 組織：個人が正しい方向へ主体性をもって行動するよう**明確な指針や支援**の提供が必要。  
→本学における適切な支援は何か、現状把握が必要。

## ②DX推進に関する人材育成研修（職員研修）：

2024年度より「**DXコア人材育成プロジェクト**」を展開中。

現場でDX推進の核となる人材を育成することを目的とし、  
【**業務上の課題に対し、1年間の取組みで成果を創出**】する活動を展開している。

①・②の背景から、「IT意識調査」を実施。

## IT意識調査の実施概要について:

専任職員を対象に2025年5月にMicrosoft Formsにて実施、集計はMicrosoft Power BIを利用。

- 回答期間：2025年 5月14日（水）～5月31日（土）
- 回答対象者：全部署の専任職員（休職者、4月以降の入職者除く）  
2025年4月以降の部署異動者は、前部署を想定して回答してもらう。

アンケートでは、大きく5つのセクションに分けて設問設定した。

- ◆年代設問…20代／30代／40代／50代以上より選択
- ◆自己認知…ITへの苦手意識や興味について。
- ◆組織に対して…大学全体または所属部署に対する印象について。
- ◆IT研修の内容について…興味のある分野、実施形態、モチベーションについて。
- ◆役職者向け…課長職以上を対象に、管理職向けの設問を設定。

## 2-1. IT意識調査の概要および回答者の属性

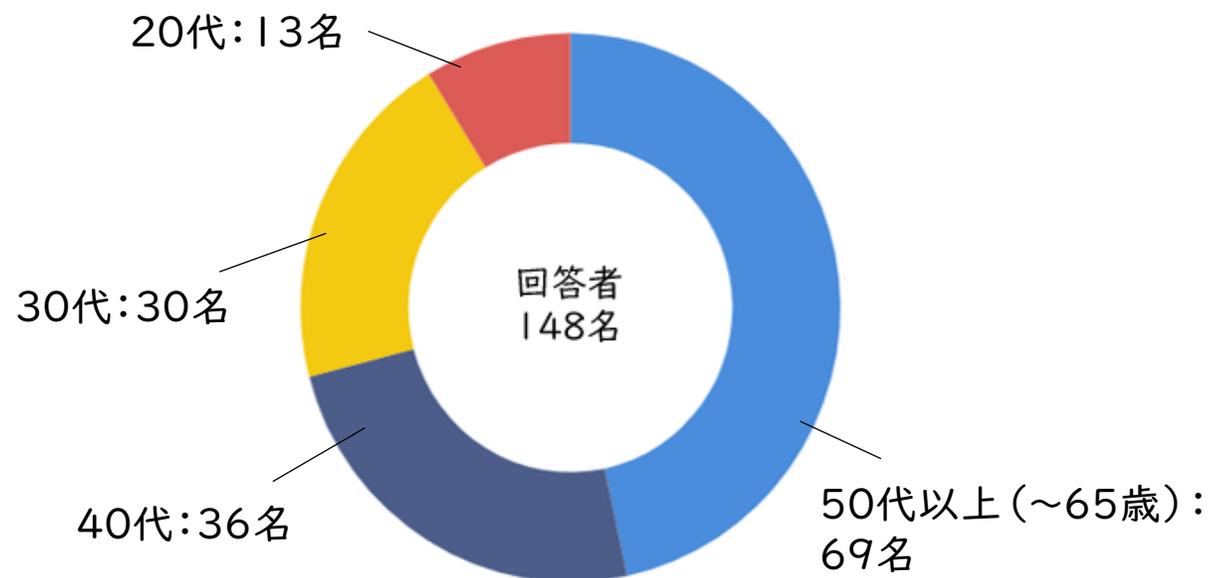
### 回答者の属性について:

回答者の人数および年代内訳は次のとおりであった。

全専任職員（回答不要者含む）：165名

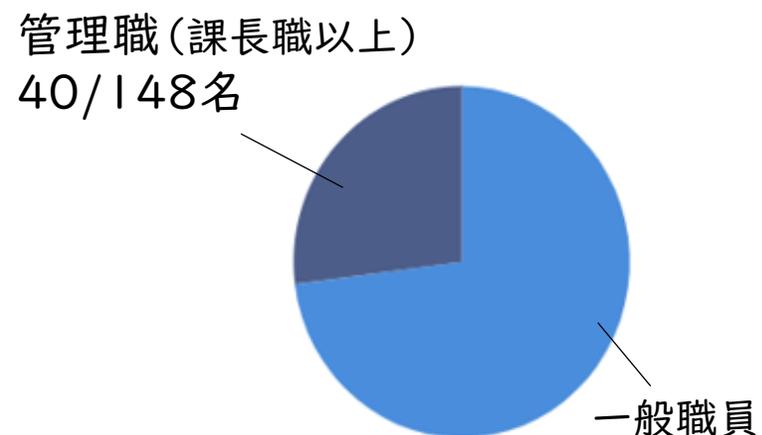
**回答提出者：148名**

#### 【回答提出者の年代内訳】



#### 【回答提出者の管理職（課長職以上）数】

管理職（課長職以上）：**40名**



## 全体集計結果について:

とくに顕著であった結果は次のとおり。

### 自己認知

### ITに対する苦手意識や自己評価について

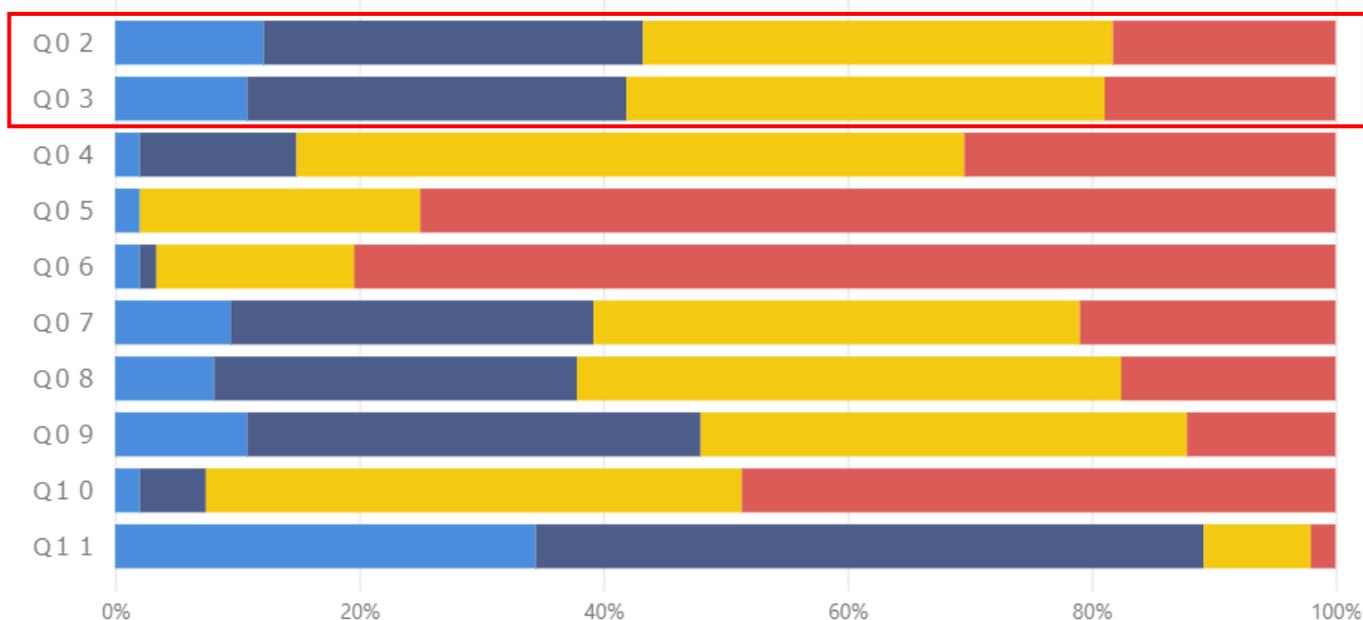
●過半数が**ITへの苦手意識あり** (Q02)、**初歩的なIT知識が不足** (Q03) と回答。

しかしITへの興味、スキルの必要性、業務のIT推進には多くの回答者が肯定的な姿勢を示した。

→無関心なわけではない。やり方(知識・スキル)が分かれば、実際の行動(推進)に繋がる可能性。

- 02. IT全般に対して苦手意識がある。
- 03. 初歩的なIT知識が十分に身につけていないと感じる。
- 04. ITについて積極的に学びたい。興味がある。
- 05. 仕事をする上で、  
IT知識・スキルを持つことは意味がある。
- 06. 現代社会において、  
IT知識・スキルを持つことは意味がある。
- 07. ITに関する新技術や新商品を知るとわくわくする。
- 08. 学生や今後入職する職員に置いていかれそうで怖い。
- 09. IT系の問題は誰かに頼りたい。  
自分で解決する自信が無い。
- 10. 業務におけるIT推進には肯定的だ。  
できることから進めたい。
- 11. 業務におけるIT推進は、  
仕事が増えるので正直関わりたくない。

回答 ●0:全く当てはまらない ●1:あまり当てはまらない ●2:やや当てはまる。 ●3:とても当てはまる

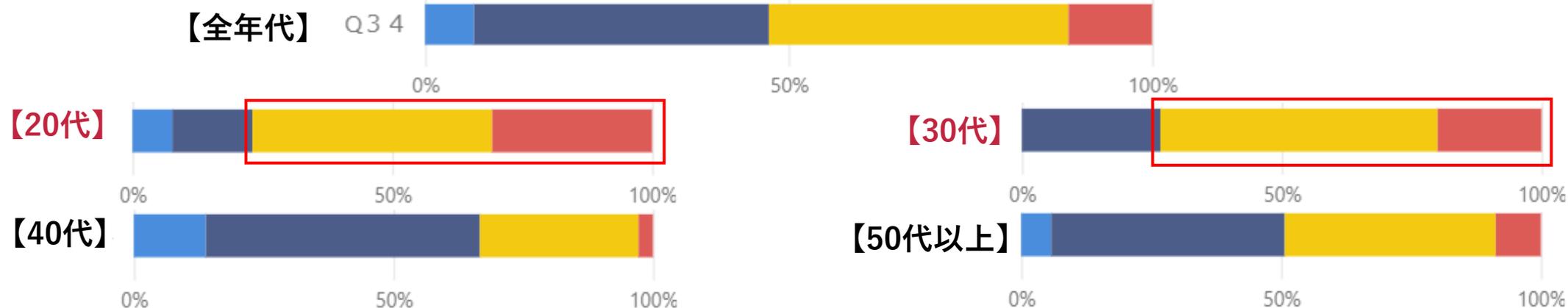


## IT研修の内容 ▶ 興味のある分野、ITを学ぶ場合のモチベーションについて

●「資格関連」(Q34) についての職員向けIT研修に興味があるか? という質問に対し、全年代での興味ありは約53%だが、年代別では20・30代は75%前後。若年層における資格への興味が高い。

職員向けIT研修について、こういった分野に興味がありますか? - Q34. ITパスポートやMOSなど資格関連

回答 ● 0: 全く興味がない ● 1: あまり興味がない ● 2: やや興味がある。 ● 3: とても興味がある。



●ITを学ぶ場合のモチベーションについては、**楽しさ** (Q37) と **業務や実生活との関連** (Q38) への支持が特に高かった。

ITを学ぶ場合、何がモチベーションになると思いますか? - Q37. 楽しい、面白いと思えるか。 / Q38. 業務や実生活などに活かせるか。

回答 ● 0: 全く当てはまらない ● 1: あまり当てはまらない ● 2: やや当てはまる。 ● 3: とても当てはまる



### 組織に対して ▶ 大学全体または所属部署に対する印象について

- 所属部署におけるIT推進について、**何を取り組むべきか分からない**（Q21）の設問に対し**約33%**（約3人に1人）が否定的な回答であった。

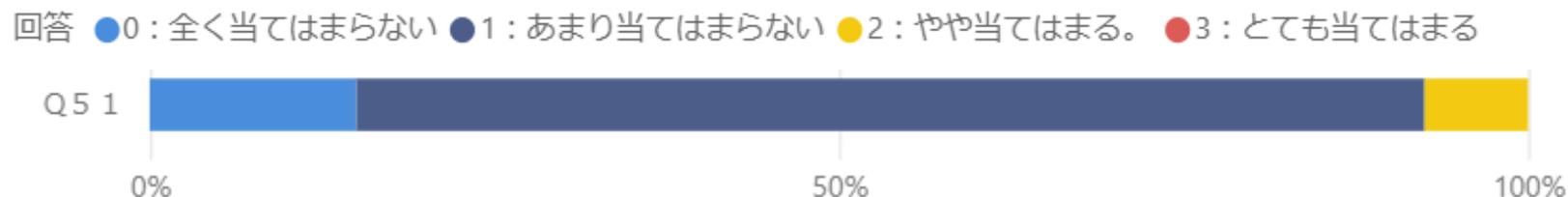
所属部署におけるIT推進について - Q21. 何を取り組むべきか分からない。



### 役職者向け ▶ 管理職向け（課長職以上）の設問について

- IT推進のための管理職の役割定義（Q51）に関して、約92%が定義されていないと回答しており、**体制や役割整理**における課題が示された。

IT時代に管理職（課長職以上）であることについて - Q51. IT推進のために管理職の役割が明確に定義されていると思う。



## 2-3. 主体性に影響を及ぼす背景要因

Q21 「所属部署におけるIT推進について、何を取り組むべきか 分からない」層 (33%)

→「分からない」層にどのような背景があるのか？

IT推進における「個人の主体性」を妨げる要因が存在している可能性。

**Q21の原因となりうる設問を選び、「分かる派」「分からない派」の回答を比較**

※各設問、0：全く当てはまらない～3：とても当てはまるより選択

### 【ITに対する苦手意識や自己評価について】

Q03. 初歩的なIT知識が十分に身につけていないと感じる。

### 【大学全体におけるIT推進について】

Q14. 他部署や教員との調整や相談が難しい。

Q17. 全体の方針が明確でないと思う。

Q19. どこで何が行われているか、部署を横断した情報把握が難しい。

### 【所属部署におけるIT推進について】

Q22. 担当者間や所属部署内での調整や相談が難しい。

Q23. 本来の業務が忙しすぎて手が回らない。

## 2-3.主体性に影響を及ぼす背景要因

### ①「分からない」群と「分かる」群の回答比較から見える要因:

「分からない」群では全体を通してネガティブ傾向が強く、特に以下項目における差が顕著:

#### - Q03: 初歩的なIT知識の不足感

→IT基礎知識の有無が取組全体の理解や視野の広がりに影響か。

#### - Q22: 所属部署内での調整・相談の困難

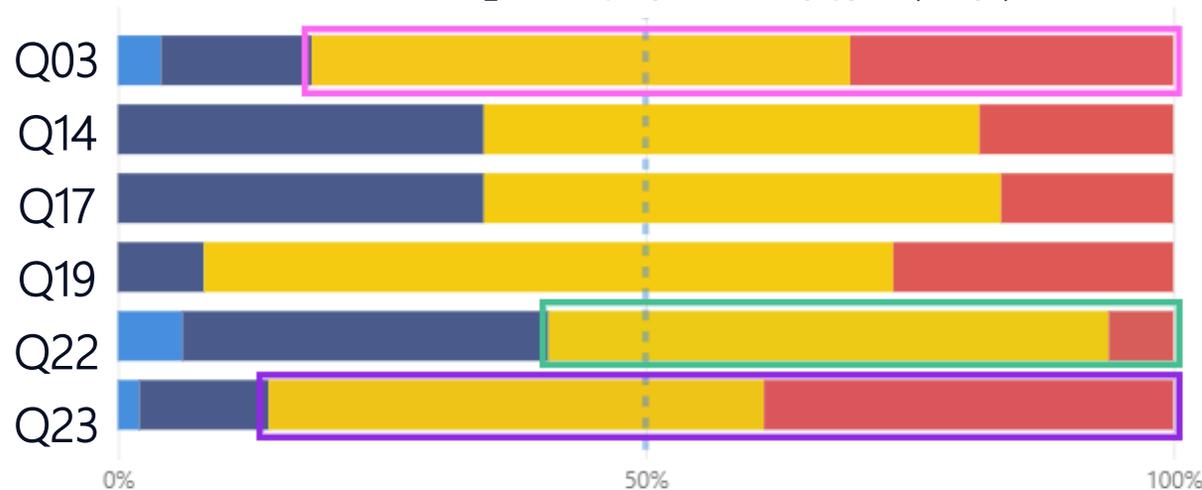
→部署内相談のしづらさなど、環境・人間関係要因が関与か。

#### - Q23: 本来業務の多忙

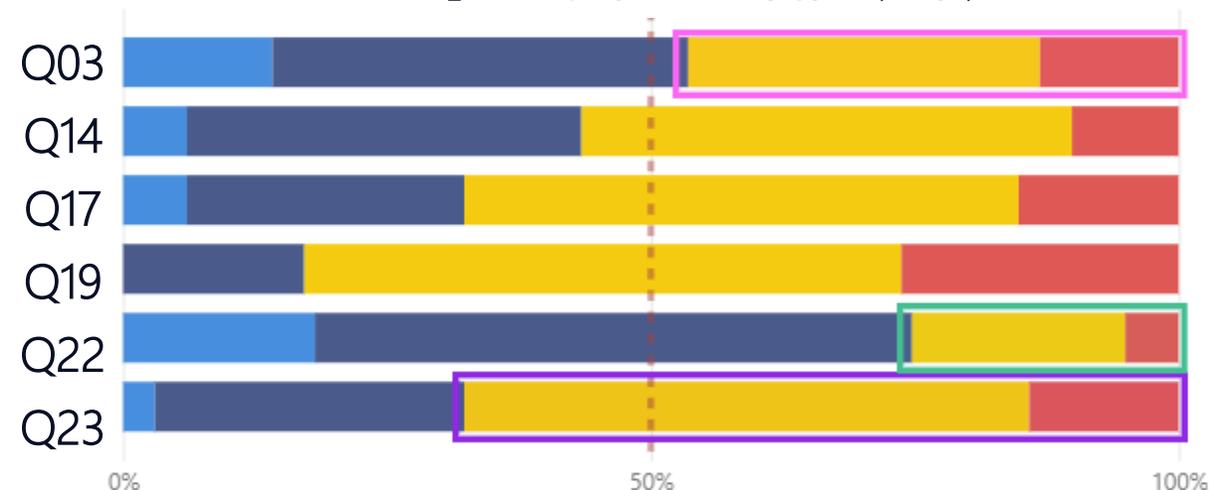
→多忙さと理解度には関連がみられるが、因果方向は不明。

### Q2「所属部署におけるIT推進について、何を取り組むべきか分からない」

「分からない」の選択者による回答 (49名)



「分かる」の選択者による回答 (99名)



回答 ●0: 全く当てはまらない ●1: あまり当てはまらない ●2: やや当てはまる。 ●3: とても当てはまる

## 2-3.主体性に影響を及ぼす背景要因

### ②「分かる」群から窺える課題:

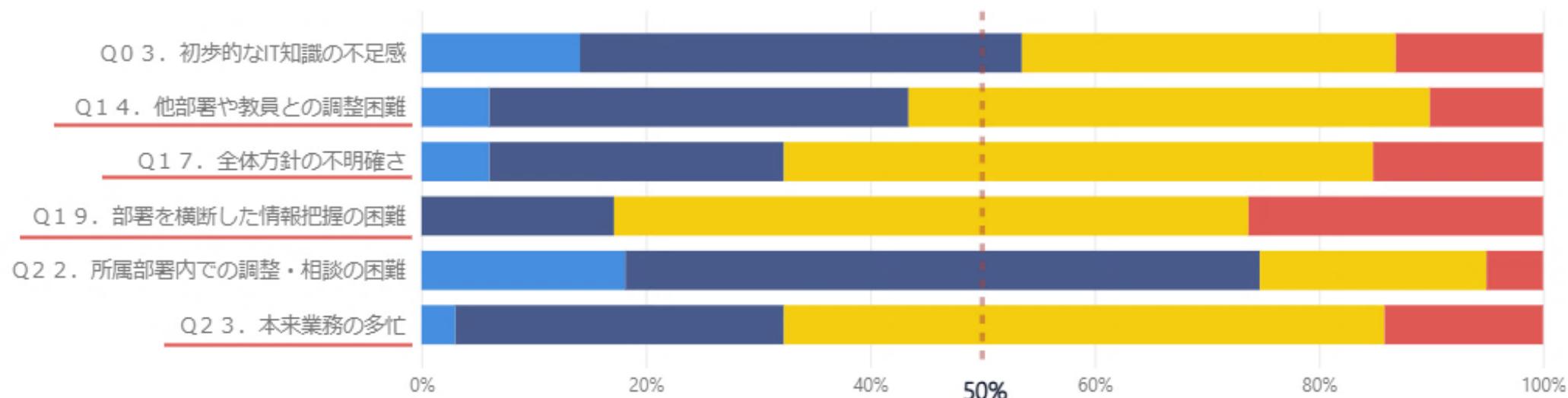
「分かる」の回答者において、以下項目では否定的な回答が過半数であった。

- Q14：他部署・教員との調整困難
- Q17：全体方針の不明確さ
- Q19：部署横断での情報共有の難しさ
- Q23：本来業務の多忙

全学的な推進体制の課題が示唆される。

「所属部署におけるIT推進について何を取り組むべきか分かる」の選択者による回答（99名）

回答 ●0：全く当てはまらない ●1：あまり当てはまらない ●2：やや当てはまる。 ●3：とても当てはまる



# 3. 調査結果の総括および今後の展望

## ●調査結果の総括：

- ・ITが苦手、知識不足だと認識している回答者は過半数であるが、無関心なわけではない。
- ・若年層における資格分野への興味が高い。
- ・業務や実生活との関連性がITの学習におけるモチベーションに繋がる。
- ・IT知識の有無、他者との調整・相談のしやすさ、業務の多忙さは、IT推進における課題認識力に大きく影響を及ぼす可能性がある。
- ・全学的な推進体制に課題があるように見受けられる。

## ●今後の展望：

上記の総括を元に、以下の施策設計を検討し、各々が主体的にDX推進に関わる環境の整備を目指す。

### 1 個人のスキル育成

業務に活かしやすく学内でニーズの高いMicrosoft製品活用やIT基礎に焦点を当てた受講ハードルの低い研修の実現。

### 2 学習支援体制の強化

資格取得支援制度の見直しとDX人材育成の連携強化。

### 3 組織としてのDX推進

DXビジョンの提示と、管理職が必要性を認識するIT推進における役割定義。